

雲仙警察署協議会第4回会議議事概要

日 時	令和4年10月26日（水） 14時00分～15時00分
場 所	雲仙警察署講堂
出 席 者	<p>1 協議会 本多会長 古賀委員 田中委員 濱崎委員 柿川委員 宅島委員 熊辻委員</p> <p>2 警察署 宮崎署長 塩田警務課長 山口雲仙北交番所長 井上交通課長</p> <p>3 書記 警務係長</p>
会議の状況	<p>1 諮問テーマへの協議会の答申に対する推進状況について 署長から、第2回協議会における諮問テーマ「警察官採用試験の受験者数を増加させるための方策」への答申に対する推進状況について、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 「各種広報媒体を活用した魅力ある宣伝活動を行ってほしい」について ア 7月に署員がケーブルテレビに出演し、警察官採用試験の応募要領等について告知を行った。 イ 雲仙市の広報誌に、警察官等募集のお知らせを掲載した。 ウ 交番・駐在所のミニ広報紙や交番（駐在所）速報を活用し、警察官募集の広報を行った。</p> <p>(2) 「学生と警察官が接する機会を増やしてほしい」について ア 署員が、小浜高校や国見高校を訪問して、受験勸奨活動や警察業務の説明を行った。 イ 管内の中学校を訪問し、警察官採用広報動画の案内チラシを配布した。</p> <p>(3) 「警察は堅い、厳しいという固定概念を払拭してほしい」について ア 県警察公式SNSを活用し、警察の堅いイメージを払拭するような親しみやすい広報活動を実施した。 イ 10月18日に、広報活動に貢献した柴犬の「マコちゃん」に署長感謝状を贈呈した。</p> <p>(4) 「小さな子どもが関心を持つような宣伝活動を行ってほしい」について ア 雲仙駐在所を訪問した未就学児に対して、パトカー乗車体験を行った。 イ 9月中、千々石駐在所員が、学童保育や習字塾を訪問して子どもたちと交流を図り、交通安全・不審者対応について、注意喚起を行った。 ウ 10月中、社会学習で小浜交番を訪問した小学2年生に「けい</p>

さつのごと」の冊子を配布し、警察の仕事内容について説明を行った。

2 前回会議での協議会の意見に対する推進状況について

署長から、前回協議会の提出意見である「高齢者の交通事故防止対策の推進」に対する推進状況について、次のとおり説明があった。

- (1) 各地区の老人会を訪問し、26回延べ274人に交通安全講話を実施した。
- (2) 交通事故を起こした高齢者宅を訪問し、個別に交通安全指導を実施した。
- (3) 交通安全協会・母の会等と協力し、交通安全運動期間中の交通安全キャンペーンにおいて、高齢者の交通事故防止を呼び掛けた。
- (4) ドライブシミュレータ等を活用し、体験型の交通安全教育を実施した。
- (5) 運転に不安を感じている高齢者に対し、交通講話や高齢者宅訪問活動等を通じて運転免許証の自主返納を働き掛けた。
- (6) 県警察公式SNSを利用して、交通安全の呼び掛けを行った。

3 令和4年7月から9月の業務推進結果について

- (1) 優秀かつ多様な人材確保の推進
- (2) 術科訓練の推進
- (3) 少年の非行防止及び福祉犯被害の未然防止活動の推進
 - ア 非行防止講話の実施
 - イ 少年の非行防止等に関する広報啓発活動の実施
 - ウ 街頭補導活動の実施
- (4) ニセ電話詐欺被害防止対策の推進
 - ア 雲仙市長及び雲仙警察署長によるニセ電話詐欺被害撲滅宣言の実施
 - イ 高齢者等を対象とした防犯講話の実施
- (5) 精霊流し等における雑踏事故の防止
- (6) 夏期における水難・山岳事故の防止
- (7) 窃盗・詐欺事件の検挙推進
- (8) 高齢者の交通事故防止対策の推進
- (9) 居住外国人対策の推進

4 業務重点推進計画について

署長から、次のとおり説明があった。

- (1) 職員の基礎体力及び健康増進の推進
- (2) 犯罪抑止対策の推進
- (3) 事件・事故抑止に向けた街頭活動の強化
- (4) 秋の行楽シーズンにおける山岳事故の防止
- (5) 窃盗・詐欺事件の検挙推進
- (6) 飲酒運転根絶対策の推進
- (7) 各種テロ対策の推進

提出意見	<p>○ 年末における犯罪抑止対策の推進</p> <p>これから年末にかけて慌ただしくなり、各種犯罪が発生しやすい時期になるため、広報啓発活動や自主防犯意識を高める政策を推進してもらいたい。</p>
------	---